マラウイ月報（2023年7月）

【内政】

1. 「民主進歩党（DPP）全国理事会」（4日付ネイション紙）

3日、DPP全国理事会が、ムタリカ前大統領を2025年大統領選挙のDPP候補者として支持する決断を下し、党内の政治闘争が加速。

【外交】

1. 「チャクウェラ大統領、マラウイとタンザニア関係を称賛」（6日付ネイション紙）

チャクウェラ大統領は、第59回マラウイ共和国独立記念式典に主賓として参加するハッサン・タンザニア大統領をカムズ国際空港で出迎えた。

2. 「チャクウェラ大統領、若者への投資をアフリカのリーダーに呼びかける」（27日付ネイション紙）

チャクウェラ大統領はタンザニアで開催されたアフリカ人的資源サミットのパネルディスカッションに参加し、人口の80%を占める35才以下の若者を労働力として活用する必要性を確認。

【経済】

1. 「マラウイ政府、中古車輸入関税導入に関する決定を取り下げ」（4日付ネイション紙）

政府は、中古車の新関税制度に関する決定を取り消した。これにより自動車を輸入する際は旧税制が適応されることになる。

2. 「マラウイ、近隣諸国と電力取引」（6日付ネイション紙）

近隣諸国や南部アフリカ・パワー・プール（SAPP）との間で、マラウイを同地域の電力接続の中心地にする交渉が進められている。

3. 「生活費高騰」（9日付ネイション週末紙）

本年5月の生活費は前年同期比で46%上昇。1日に実施された水道料金の値上げ（50%）による消費者への影響が深刻。

4. 「貿易赤字148%拡大」（10日付ネイション紙）

本年5月の貿易赤字は、前年同月期比で148.5%拡大。

5. 「ソングウェ川共同開発に10.4億米ドル」（17日付タイムズ紙）

マラウイとタンザニアのソングウェ川流域開発計画（SRBDP）の実施に10.4億米ドルを計上。水力発電所を建設予定。

6. 「新たな燃料危機」（19日付ネイション紙）

外貨不足を原因とする深刻な燃料危機が発生。

7. 「タバコ収入、2億7,730万米ドルに」(25日付タイムズ紙)

本年度の国全体のタバコ収入は2億7,730万米ドル。昨年同時期の1億5,430万米ドルから79.7%増加。

8. 「ザレカ難民キャンプ、50%の資金削減に直面」(25日付ネイション紙)

WFPは資金不足のためザレカ難民キャンプへの援助の50%削減を決定。難民に対する現金支給額は5.90米ドル(約6,300クワチャ)に減額。

9. 「IMF、マラウイのプログラムは順調と発表」(29日付マラウイ・ニュース)

IMF理事会は、モニタリング・プログラム(PMB)の進捗状況は順調であると発表。

10. 「2023年の平均インフレ率、29%」(31日付タイムズ紙)

マラウイ中央銀行(RBM)は、食品インフレの加速を受け、年間インフレ率の予想値29.5%に上方修正。

記事の内容にご質問のある方は、当館までお問い合わせください。

代表電話：+265 885 302 222

Email：embmalawi@lw.mofa.go.jp